

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

現在、麻酔科では、下記の共同研究機関から診療情報等の提供を受けて、下記研究課題の実施に利用しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の本学での研究内容の問い合わせ担当者もしくは研究代表機関の問い合わせ先まで直接ご連絡ください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合には、下記の各医療機関へ直接ご連絡いただくか、もしくは下記の問い合わせ担当者または研究代表機関の問い合わせ先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[共同研究課題名]

Stanford A型急性大動脈解離に対する、大動脈弁温存基部置換術（David手術など）とベントール手術の臨床アウトカムの比較検討

[共同研究の研究代表機関及び研究代表者]

研究代表機関・研究代表者：蔚山（ウルサン）大学校医科大学Asan医療センター胸部心臓血管外科
Joonbun Kim
本研究に関する問い合わせ先：東京女子医科大学麻酔科 長坂安子
電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9時～16時）

[提供を受けている診療情報等の由来者（研究対象者）]

以下に示す各医療機関において、2000年1月～2024年12月までの間に、Stanford A型大動脈解離と診断され治療を受けられた方

1. 蔚山（ウルサン）大学校医科大学Asan医療センター（韓国）（機関の長：Park Seung-II）

[提供を受け、本学で利用している診療情報等の項目]

診療情報等：性別、年齢、BMI

臨床情報：臨床情報：入院日、生存状況および死亡日、再入院状況および日付、再手術状況および日付、併存疾患（糖尿病、高血圧、腎不全、心血管既往歴、心房細動、合併症）。

臨床検査データ：検査データ：クレアチニン、ヘモグロビン、アルブミン、eGFR

画像データ：CT、MRI、内視鏡検査、放射線報告書

[利用・提供の目的]（遺伝子解析研究：無）

急性Stanford A型大動脈解離における弁温存大動脈基部置換術とBentall法の臨床成績比較を目的とした共同研究実施

[研究実施期間および主な提供方法]

期間：倫理審査委員会承認後より2025年12月までの間（予定）

提供方法：☐直接手渡し ☐郵送・宅配 ☒電子的配信 ☐その他（ ）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[東京女子医科大学における機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 清水 治

研究責任者：東京女子医科大学 麻酔科学分野 基幹分野長・教授 長坂安子

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 麻酔科学分野 基幹分野長・教授 長坂安子

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日 9 時～16 時）